

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 12 日 (2015.3.12)

【公開番号】特開 2012-42466 (P2012-42466A)

【公開日】平成 24 年 3 月 1 日 (2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2012-009

【出願番号】特願 2011-175800 (P2011-175800)

【国際特許分類】

G 0 1 R 13/20 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 13/20 M

G 0 1 R 13/20 R

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 21 日 (2015.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被試験電気信号を受ける入力端子と、

上記被試験電気信号をデジタル化するアナログ・デジタル・コンバータと、

デジタル化した上記被試験電気信号から I (同相) 及び Q (直交) ベースバンド成分情報を生成するデジタル・ダウン・コンバータと、

上記 I 及び Q ベースバンド成分情報を用いて 1 つ以上の I Q ベース時間領域トレースを生成するトレース生成部と、

1 つ以上の上記 I Q ベース時間領域トレースの特性に対応する 1 つ以上の測定値を生成する測定部とを具備、

1 つ以上の上記 I Q ベース時間領域トレースとして周波数対時間トレースを含み、上記測定部は上記周波数対時間トレース中の周波数ホップの周波数を測定するように構成され、これによって、上記被試験信号の 1 側面として、周波数変調ホップ・レートを決定することを特徴とする試験測定装置。

【請求項 2】

上記 I Q ベース時間領域トレースとして、位相対時間トレース及び電力対時間トレースの一方又は両方を更に含むことを特徴とする請求項 1 記載の試験測定装置。

【請求項 3】

上記入力端子を第 1 入力端子とし、第 2 信号を受ける第 2 入力端子を更に具備、

上記測定部が上記第 2 信号と上記周波数対時間トレース間の遅延時間を測定することを特徴とする請求項 1 記載の試験測定装置。

【請求項 4】

試験測定装置において、時間領域トレースを測定するための方法であって、

上記試験測定装置の端子において被試験電気信号を受けるステップと、

アナログ・デジタル・コンバータを用いて上記被試験電気信号をデジタル化するステップと、

デジタル化した上記被試験電気信号をダウン・コンバートして I (同相) 及び Q (直交) ベースバンド成分情報を生成するステップと、

上記 I 及び Q ベースバンド成分情報を用いて 1 つ以上の I Q ベース時間領域トレースを

生成するステップと、

1つ以上の上記 I Q ベース時間領域トレースの複数の測定値を自動的に生成するステップとを具え、

1つ以上の上記 I Q ベース時間領域トレースを生成するステップが、周波数対時間トレースを生成するステップを含み、

1つ以上の上記 I Q ベース時間領域トレースの複数の上記測定値を自動的に生成するステップが、

上記周波数対時間トレース中の周波数ホップの周波数を測定することによって、周波数変調ホップ・レートを決定するステップと、

上記周波数変調ホップ・レートに対応する測定値を表示ユニット上に表示するステップとを含む測定方法。